

# 架け橋

～広域紋別病院だより～



## 目次

1. 表紙
2. 巻頭言(新年のご挨拶)
3. 診療部から(循環器内科)
4. 医療技術部から(栄養指導係)
5. 看護部から(手術室)
6. 健康レシピ(リハビリテーション係)
7. 新病院の建設工事の今(建設準備室)・職員の募集について
8. 病院行事報告・編集後記

### 病院理念

みなさんと心をひとつに、互いに尊敬と感謝の気持ちを共有し、笑顔の医療を提供します。

- ・常に、質の高い医療を安全・確実に提供します。
- ・生命、人としての尊厳を敬い、心のかよう医療を提供します。
- ・人材の育成に努め、働く喜びを共有できる環境づくりを進めます。

## 新年のご挨拶



小児医療センター長 須貝 理香

新しい年が始まり、寒い毎日が続いています。  
インフルエンザも本格的な流行に入ってきました。  
皆さんの体調はいかがでしょう？

2014年は様々な自然災害が目立った印象のある一年でした。今年の干支【羊】は平和をもたらす象徴とも言われています。

穏やかな一年になることを祈っています。  
今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

さて、現在も着々と工事が進んでいますが、今年の四月にはいよいよ新しい病院がオープン予定です。

建物はもちろんですが、同時に大きく変わるのが、カルテや検査オーダーなどの電子化です。

今までのアナログ媒体から、ほぼ全てがデジタル化される予定で、私たち職員も患者さんが、スムーズに診療が進むように準備をすすめています。

みなさんはアナログ派ですか？それともバリバリのデジタル派ですか？

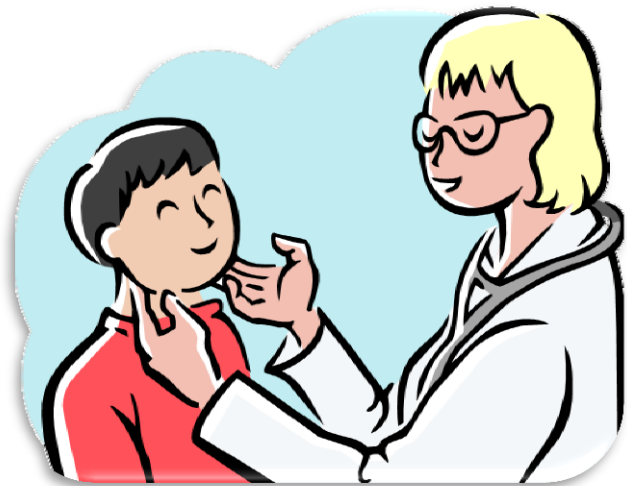
いずれにしても慣れるまでは、ちょっとドキドキですね。

色々な事が一斉に変化するため、混乱してしまう場面もあるかもしれません。

ご迷惑をおかけしてしまう場合もあるかと思いますが、どうか温かい目で見守っていただくと幸いです。

そろそろオホーツク海には流氷がお出ましくるところとなり、まだまだ先だと思っていた病院のお引越しも、この分だとあっという間にやってきそうな雰囲気です。

皆様の期待に添えるような病院になるように職員一同、精一杯努力していきます。  
どうぞこれからもよろしくお願いいたします。



# 診療部から

## ～循環器内科について～



循環器内科医長 横山 豊

### 循環器って何ですか？

こんにちは。循環器内科の横山です。  
一昨年10月に地元紋別に戻り1年が経ちました。  
今回は当院の循環器内科について説明させていただきます。

### 〈循環器内科とは？〉

心臓を中心に血液は体を「循環」しています。  
その循環に関わる病気を診察するのが循環器内科です。

一般的には 心臓・血管・血圧の病気を担当しますが、当院の循環器内科では次の様な病気を診察しています。

### 〈当院の循環器内科で診察する病気は？〉

- ①血管（血液の通り道）の病気
  - ・動脈硬化の原因となる生活習慣病：高血圧症、糖尿病、脂質異常症（コレステロール）、高尿酸血症（痛風）など
  - ・動脈の病気：閉塞性動脈硬化症（動脈が詰まり、脚などが痺れ・痛む病気）など。
  - ・静脈の病気：静脈血栓症（静脈が詰まり、足などがむくむ病気）など
- ②心臓（血液を送り出すポンプ）の病気
  - ・心不全、狭心症、心筋梗塞、不整脈、弁膜症、心筋症など
- ③腎臓（血液量を調整する臓器）の病気
  - ・腎不全、ネフローゼ症候群など
- ④内分泌（ホルモン）の病気
  - ・甲状腺などホルモンの異常（動悸・息切れ・むくみの原因）：バセドウ病、原発性アルドステロン症など

### 〈循環器の病気でどんな症状が出るのか？〉

胸の苦しさ・痛み、息苦しさ、むくみ、だるさ、動悸、めまい、失神、足の痺れ・痛み等

### 〈患者様へ〉

生活習慣病は、症状が乏しく放置される事も多い病気です。

しかし心筋梗塞・脳梗塞・失明など突然起きる病気の原因になります。

血圧・血糖などをしっかり管理し、今と変わらない日常が続けられるよう協力させていただきます。

腎臓病で透析治療を必要とする方が増え続けています。

腎不全の一番の原因は糖尿病ですが、腎臓の状態に応じた食事療法・薬物療法を行い、透析を1日でも遅らせられるよう協力させていただきます。

また末期腎不全治療には血液透析の他、腹膜透析・腎移植もあり患者様の希望・状況にそった方法を患者様に選んで頂いています。

狭心症・心筋梗塞の精密検査・治療など当院での対応が困難な場合、遠軽厚生病院を中心とした近隣の病院に協力して頂いています。

西紋別地域の「循環器かかりつけ医」として診療し、詳しい検査・治療が必要な際には遠軽・名寄・北見・旭川・札幌などの病院と連携し治療を行っています。

診察は原則予約制となっておりますが、1人体制の診療科のため病棟・外来・救急の対応でお待ち頂くこともあります。

初めて受診される方（新患）は、ゆっくりと診察ができるよう火曜・木曜午後の予約となります。

他院通院中の方は紹介状を持参ください。  
診察を希望される患者様は内科外来または電話で御相談下さい。

# 医療技術部から

## 《栄養指導係について》

栄養指導係は管理栄養士2名で構成されています。皆さんは、栄養士と管理栄養士の違いをご存じですか？

“栄養士”は保育園や老人ホームなど、健康な方々の健康増進を目標に栄養管理を行います。

“管理栄養士”は健康な方々の他にも、疾病を抱えた方の栄養管理・指導も行なうため、病院などの医療施設が主な活躍の場となります。

## 【業務内容】

### ①栄養指導

入院・外来患者様に対して個人栄養指導をします。食事療法は、服薬・運動に並んで大切な治療の1つです。患者様のライフスタイルを聞き取ってから、その方に合った無理のない食事療法を提案・指導します。

### ②入院患者様の栄養管理

ベッドサイドへ伺い、入院中のお食事の説明や、アレルギーの有無・嗜好について聞き取りを行います。また、採血データ・問診・体重などから患者様の栄養状態を判断し、医師にその方に合った食事量や食種・形態を提案することもあります。

食欲が低下している方には好みに合わせたメニューを提供するなど、個人対応もしています。

### ③給食の提供

当院では、献立の作成・調理を給食委託会社に委託しています。異物混入や誤配膳がないよう、管理栄養士が最終チェックを行います。

患者様に適温で食べていただけるよう、食事は温冷配膳車に入れて病棟へ届けます。

また、患者様にお出しする前に管理栄養士と医師が実際に食べて、問題がないかをチェックする検食業務も行っています。

### ④特定保健指導

通称“メタボ健診”です。40歳以上の生活習慣病予備軍の方を対象に指導を行い、将来的にかかる医療費を削減する目的があります。

費用負担ゼロで受けられるので、健康診断で支援対象となられた方はお気軽に当院までお問い合わせください。



▲食事チェック



▲3月3日【ひなまつり】行事食

# 看護部から

## 【手術室について】

手術室について紹介したいと思います。

正式には「外来・手術室」といい、スタッフは外来（救急外来も含みます）と手術室の両方を担当します。手術を担当するスタッフは9名で外科、整形外科の手術に入っています。そのため、手術を受ける患者様をお迎えした時に「あら？〇〇科の看護師さん？」と声をかけてくださることもあります。

一口に手術といっても、入院の必要な全身麻酔の手術や、局所麻酔で日帰り手術などいろいろあります。



外科では主にお腹に2～3ヶ所の小さな穴をあけ、腹腔鏡（ふくくうきょう）といわれるカメラや操作のための器具を使った手術が行われます。また、消化器外科を中心に甲状腺、乳房切除なども行います。

整形外科では手足の骨折のための骨接合術やアキレス腱断裂、膝や股関節の人工関節置換術などが行われます。

これらの手術を行うには、外科・整形外科の医師だけではなく、麻酔をかけるための医師もいます。

今年度から常勤の麻酔科医師が増えたことで、緊急の手術も行うことができるようになりました。

手術直後患者様に「手術が終わりましたよ」と最初に声をかけるのは麻酔科の医師です。

私達看護師が手術後何日かして患者様の所に訪問させて頂くのですが、手術終了後の事はあまり覚えていないとおっしゃる患者様が多いです。このように複数の医師と看護師で手術が行われています。

手術というと皆さんは「えっ、いやだなあ」「なるべくならしたくないなあ」と考える方がほとんどだと思います。

これから手術を受ける患者様を迎えるため、私達看護師は少しでも不安や緊張がほぐれるようにするためにはどうすればよいか、と患者様1人1人について考え行動します。

小児の手術であれば、アニメ主題歌を流したり、希望があればその患者様の好みの演歌やクラシックと可能な限りの音楽を選択したりしています。

もちろん、具体的な手術の知識、技術についての勉強も行っています。

たとえば、実際に手術の行われる体勢になった時、どのような影響が身体に起こるかを考え、どうすればその影響を避けられるか、看護師同士で身体の固定方法を実際に行うなどの学習会を行っています。

麻酔により「痛い、苦しい」などご自分で訴えられない患者様にかわって、「痛い、苦しい」を代弁し、予防できるケアが大切だと考え行動しています。



## 『ナースこぼし』 その6

手術をする場所によって様々な体勢をとります。

その時身体を固定する道具に「若杉手台」というのがあります。

横向きになった時の腕を固定する台です。しかし私が教えてもらった名前は「アイーン手台」。

あの「アイーン」の手の形からです。

恥ずかしながらつい最近正式名称を知りました。

いったい誰が呼び出したかは謎です。

### 四十肩・五十肩と肩こり

「四十肩・五十肩」と「肩こり」は、共に同じ肩周辺に起こる症状ですが、肩こりの多くが「筋肉の血行不良」が原因であるのに対し、四十肩・五十肩は、肩の関節、関節周囲の靭帯・筋・腱などが、炎症や拘縮を起こすからとされています。

四十肩・五十肩は自然に治るものではありませんが、放っておくと、痛みが取れた後も運動障害が残る事があります。

また、よく似た別の他の疾患の可能性もあるため、自己判断せずに整形外科を受診しましょう。

### 四十肩・五十肩体操

激しい痛みを感じ始めたとき、患部に熱を持っているときは冷やして安静にし、受診するのが一番です。痛みが減った、「鋭い痛み」が「鈍い痛み」になった場合、もしくは予防の一つとして体操を行うのも良いでしょう。日課として頑張り過ぎずに毎日続けるのが大切です。

#### アイロン（振り子・コッドマン）体操の「基本」



太股の付け根ほどの高さのテーブル等につかまり、痛まない程度の角度で少し前かがみになります。

「痛くない方の手」を、テーブルについて支えにします。「痛む側の手」で、おも

り（1kgくらい）を持ち、肩の力を抜いて垂らします。「前後」「左右」「円を描く」運動を、それぞれ10往復を1回とし、最初は無理をせず1日1回。

慣れてきたら徐々に回数を増やし、傾斜（前かがみ）も深くして行きましょう。

#### タオル（棒）体操の「基本」

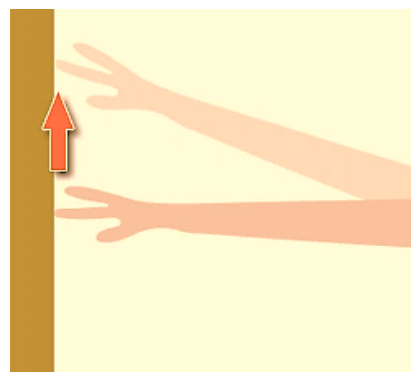


タオルや棒を両手で持ち、「下から上へ」動かします。

このとき、「痛くないほうの腕で支えて」動かします。

また、背中側で「お尻から背中あたり」まで持ち上げます。

#### 壁伝い（尺取虫体操）の「基本」



壁に向かって立ちます。

体は動かさず、痛むほうの腕の「人差し指」と「中指」を使って腕を上げていきま

す。これを10回繰り返します。

慣れてきたら、徐々に回数を増やしてゆきましょう。

## 新病院の建設工事の今

### ○現在の新病院建設工事の様子

現在、最上階までの躯体工事が完了し、完成に向け内装工事が行われております。完成後は、新たに購入した医療情報システムをはじめ、什器や医療機器等が搬入され、3月末には全体リハーサルを行う予定です。



足場が撤去され、すっきりとした外観



吹き抜けとなっている1階エントランスホール



カブエントランスから正面玄関に伸びる1階通路



見晴らしがよいデイルーム

## お知らせ

広域紋別病院は、4月20日(月)から新病院において外来診療を開始する予定となっております。旧病院からの移転に伴い4月16日(木)、17日(金)の外来は休診となりますのでご了承ください。

なお、移転に伴い診療機能の一部が制限されますが、詳細につきましては別途市町村広報誌等を通じ、お知らせいたしますのでご配意願います。

## 職員の募集について

広域紋別病院では看護師・助産師・薬剤師を随時募集しています。

募集要項の詳細は当院ホームページでご覧いただけるほか、紋別ハローワークでも求人票を掲載しています。電話でお問い合わせされる方は、下記連絡先までお問い合わせ

○お問い合わせ先

広域紋別病院 事務部 総務課 職員係

Tel : 0158-24-3111

病院ホームページ : <http://www.mombetsu-hospital.jp/>

# 病院行事報告

## 1. 「第9回市民公開講座」が開催されました。

開催日時：平成26年11月13日(木) 18時30分 開演

開催場所：紋別市文化会館 多目的ホール

### ①「免疫異常についてのお話」、②「関節リウマチの外科的治療」

札幌医科大学「道民医療推進学講座」

①特任助教 池田博先生

②特任准教授 金谷耕平先生



① 免疫力低下による様々な病気について、わかりやすいお話をさせていただきました。会場には約150名の市民の方々が熱心に耳を傾けていました。

② 身近な病気であるリウマチについて、現在の治療方法や障害についての外科的治療法など詳しくお話をさせていただきました。

## 2. 「第10回市民公開講座」が開催されました。

開催日時：平成26年11月28日(金) 18時30分 開演

開催場所：広域紋別病院 別棟1階 多目的ホール

・「肘、肩、背骨、下肢のスポーツ障害」について

札幌医科大学 金谷耕平 特任准教授

廣瀬聡明 特任助教

嘉野真允 特任助教

釧路赤十字病院整形外科 小林拓馬 副部長

に貴重なお話をさせていただきました。



## 3. 「平成26年度地域医療講演会」～(町立松前病院の挑戦)が開催されました。

開催日時：平成26年12月12日(金) 18時30分 開演

開催場所：ホテル オホーツクパレス 2階 パレスホール

町立松前病院 院長 木村眞司 先生による疲弊する地域医療について、松前病院での医師確保の取組等について講演していただき、これから地域の医療をどのように確保していくか広域紋別病院にとっても大変参考になるお話をさせていただきました。



### 編集後記

あっという間に平成26年も終わり、新病院開院の年平成27年に入り4月には新病院がオープンします。

東北の復興事業に伴う資材や人的不足などから開院が遅れている病院もありますが、お陰様で今のところ当院は順調に進んでいます。

編集：広域紋別病院広報委員会

発行：広域紋別病院

〒094-8709

紋別市緑町5丁目6番8号

TEL・FAX 0158-24-3111

URL：[http://www.mombetsu-](http://www.mombetsu-hospital.jp/)

[hospital.jp/](http://www.mombetsu-hospital.jp/)